

「宗岡せせらぎ学園」

令和8年7月1日



宗岡二中だより

7月号

自利利他円満 ～「わたしは大切、あなたも大切」～

「思い」は見えないけれど「思いやり」は見える

校長 山口 浩

今回は詩人の宮澤章二さんの言葉を紹介したいと思います。宮澤章二さんと言えば、宗二中の校歌を作詞した人ですね。さらに言えば宗二中だけではなく、数多くの学校の校歌を作っていますし、感動的な詩もいくつも作られています。

その宮澤章二さんの詩の中で、もっとも私の心に残る言葉があります。今から紹介するのは、15年前の東日本大震災のあとに流れていたテレビ広告です。

「こころ」は／だれにも見えないけれど／「こころづかい」は見える／「思い」は見えないけれど「思いやり」は／だれにでも見える／その気持ちをカタチに

この言葉が伝えているのは、心は行動として初めて人に伝わることです。たとえば、友達が落ち込んでいるときに「大丈夫？」と声をかける。部活で後輩が困っていたら、そっと手伝う。誰も見ていなくても、落ちているゴミを拾う。こうした行動は、すべてあなたの心が形になったものです。

逆に、誰かを無視したり、ふざけて傷つけたりする行動も、やっぱり心が外に出た姿です。「そんなつもりじゃなかった」と言っても、相手に伝わるのは“行動のほう”です。

だから宮澤さんは、「行為には必ず意味がある」と伝えたかったのだと思います。

ここで、みなさんに一つ質問があります。「あなたの心は、どんな行動で表れているのでしょうか。」たとえば、友達が困っているとき、気づいてあげられていますか。誰も見ていないところでも、やるべきことをやれていますか。「ありがとう」や「ごめんね」を、ちゃんと口にできていますか。こうした小さな行動の積み重ねが、周りの人に「あなたはどんな人なのか」を伝えています。心の中で「優しくしたい」「誰かの力になりたい」と思っているだけでは、相手には伝わりません。でも、たった一つの行動が、誰かの一日を明るくすることができます。

みなさんは、これからたくさんの人と出会い、いろいろな経験をしていきます。その中で、うまくいかないことや、イライラすることもあるでしょう。そんなときこそ、行動があなたの心を映し出します。誰かに冷たくしてしまうのか、傷付けてしまうのか。それとも、一度深呼吸して、優しい行動を選ぶのか。その違いが、あなた自身をつくっていきます。

宮澤章二さんの「行為の意味」は、「心は行動で証明される」というメッセージです。特別なことをする必要はありません。あいさつをする、話を聞く、困っている人に気づく。そんな小さな行為が、あなたの心をまっすぐに表してくれます。あなたの行動は、あなたの心そのものです。だからこそ、今日から少しだけ、自分の行動を意識してみてください。その一歩が、あなた自身を変え、周りの世界を変えていきます。そしてあなたの周りにいるすべての人を温かい気持ちにさせる、そんな素敵な、カッコいい人になってください。そのような人がたくさんいる宗二中になれば、「みんなが楽しいな、幸せだなと思える学校」になりますね。

(先月の学校朝会で生徒に話したものです。みなさん真剣に聞いてくれました。※一部変更しています。)